

まばゆい光を感じ

目を開けると

あなたは そこにおられた

「あなたは いつもそこにおられたのですね」

あふれんばかりの愛で

あなたは わたしを包む

ああ、このちっぽけなわたしを

“いとおいしい” と思ってくださるのを感じる

あなたは 愛 そのもの

感謝と歓喜の涙に わたしはうちふるえる

そして なつかしい

「ようやく ここに還ってこられた」

ようこそ
おかえりなさい

このときを
何千年も何億年もの間 待っていました

あなたを
ずっとずっと 待っていました

わたくしは ずっとあなたのそばにいたのです
わたくしは ずっとあなたとともにいたのです

あなたの想いは わたくしの想い
あなたの喜びは わたくしの喜び
あなたの痛みは わたくしの痛み
あなたの涙は わたくしの涙
あなたの愛は わたくしの愛

ようこそ
おかえりなさい

わたしは 思い出す
あなたとわたしは ずっとともにいたことを
あなたとわたしは ひとつであったことを
そして 遠い昔 あなたの御胸から分かれたことを

そして今
目も眩まんばかりの光の中で
わたしは あなたの 御胸に還る
わたしは 再び あなたと ひとつになる
わたしは 愛そのものになる